



6月定例会（平成24年6月21日撮影）

6月定例会の概要

平成24年6月定例会は、6月5日に開会し、17日間の会期で21日に閉会しました。

この定例会において、市長提出の報告7件、同意案1件、予算案5件、条例案6件、その他1件、計20件、請願1件、その他2件、合計23件が上程されました。

その内、請願第18号は不採択、その他の案件については、原案のとおり可決、決定等されました。

また、3月定例会に閉会中の継続審査とした請願第15号は不採択となりました。

〔6月定例会日程〕

会議日	会議別	会 議 内 容
5日(火)	本会議	議案の上程 提案理由の説明
11日(月)	本会議	一般質問（6名）
14日(木)	本会議	議案に対する質疑
15日(金)	委員会	総務委員会 民生文教委員会 産業建設委員会
21日(木)	本会議	委員長報告 討論、採決会

※次回定例会は9月に開催の予定です。

市政をたず 一般質問



今定例会では、6人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をたしました。

掲載は質問順、内容は本人から提出された要約原稿です。なお、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

一般質問者

No	質問者	No	質問者
1	遠藤素子	4	岩田功次
2	清水正治	5	大山政司
3	二宮雅男	6	井上和浩

会議の詳しい内容を知るには

本会議の内容をそのまま記録した文書として会議録があります。

会議録は、議会事務局、市民図書館、各地区公民館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページ上でもご覧になれます。

1・高すぎる国保税について

問 今高すぎる国保税が払えないため正式の保険証がなくて、医者にかかれない人が増えている。国保税がこんなに高くなったのは、それまで50%であった国庫負担が2009年度に24・7%に半減されたからである。医療費を抑えるためにも、病気は早期発見・早期治療が大切。保険証がなくて医者にかかれない人をつくってはならない。真面目に働いても払えない国保税には、申請すれば減免できる制度がある。それを何故活用させないのか。

答 基本的に雇用が厳しいところに原因があると思う。だから、国保税の問題ではなしに、まずは国において、もしくは生活保護でどうしていくのかなどの問題だ。

2・子ども子育て新システムではなく、安心して子育てできる保育環境づくりを

問 このシステムが導入されると『児童福祉法』にもとづく国と自治体の保育義務が取り払われ、保育という人間形成の大切な事業を、営利企業に任せ、保護者は自己責任で保育所と契約することになる。そうなれば、家庭環境によって、保育に差が生じることになりかねない。また、よい保育を実現するためには、保育士の負担軽減と待遇改善が重要。最近では臨時の保育士が半数近くを占めている。同じように仕事をしながら、臨時と正規の保育士で待遇が大きく違って



遠藤素子議員

質問事項

- 1 高すぎる国保税について
- 2 子ども子育て新システムではなく安心して子育てできる保育環境を
- 3 水道料金のあり方について
- 4 「脱原発の決断」で、安全・安心な生活環境づくりを

ては、人材も確保できないし、結果的に安心して子育てできる環境づくりに反するのではないか。この新システムについては、全国で反対の声が上がっているが、市の対応はどうか。

答 はっきりしない部分が多いが、多様な保育ニーズに応えながら、公立保育所の民間委託も含め、よりよい保育の実施運営を図ってまいりたい。

3・水道料金のあり方について

問 所得や年金が減り続けているとき、水道料金の値上げは、市民の命に関わる問題だ。できる限り安く抑えるべきではないか。

答 5年ぶりの改定だが給水人口・給水量などの減少で、基本料金を1000円アップとした。一般家庭で一ヶ月2700円の負担増となる。これは今後5年間を見すえて、赤字とならない最低の率である。

4・「脱原発の決断」によって、安全・安心な生活環境づくりを

野田首相は、関西電力大飯原発3・4号機を再稼働すべきとして、国民の約7割の反対を無視して再稼働へ突き進もうとしている。次は伊方原発だといわれているが、危険なのは、なくしていくのが一番の安全対策だ。福島原発事故の原因も解明されず、新基準や避難計画もないまま原発の再稼働はあり得ないのではないかと質問したが、市長・副市長は、国の最終的な判断を確認して…と、従来の答弁を繰り返した。



清水正治議員

質問事項

- 1 防災関連について
- 2 太陽光発電導入について

問 被災者支援システムの設置についてどのようになっているか。

答 総務課長 被災者支援システムは被災者台帳をもとに避難所、緊急物資、仮設住宅などの情報を一元管理するもので、阪神・淡路大震災の際に甚大な被害を受けた兵庫県西宮市の職員が構築し、平成20年度に全国の自治体に紹介されたもの。当市では昨年度システムを導入済みであり、現在、データの取り込み等災害時に即座に対応できる運用方法について協議中だが、津波等を想定した大規模災害時でも、このシステムが十分な効果を発揮できるよう作業をすすめる。

問 公共施設の耐震対策について。学校等の耐震対策はかなり進んでいると思うが、災害時の一時避難所として利用される体育館は、出来る限り早く対応しなければ、いざといった時に間に合わない。特に大勢の人が収容される学校やスポーツセンター、市民会館、文化会館、地域の公民館、集会所、介護施設、庁舎などすべての公共施設の総点検が必要と思うが。

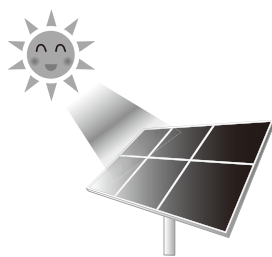
答 財政課長 公共施設は安心して利用することができる建物でなければならぬと考えている。具体的には、小中学校体育館は、松蔭小学校をのぞき、すべて耐震補強を終えており、一時避難場所として対応可能な状況である。

問 放射能測定について。昨年の福島原発事故以来、全国で放射能に対する国民の厳しい批判がマスコミで騒がれている。八幡浜市では、新年度から市内17の地区防災会に放射能測定器を設置して地区ごとに測定して頂いているが、市役所、保内庁舎の測定記録を市民に公開すること。

答 総務課長 今年度から、放射能測定器を17地区と市役所と保内庁舎に配備毎月1日に同一場所で測定、放射線量を自主防災会の協力で記録している。測定結果を確認した現状では、市内全域毎時0.05〜0.08マイクロシーベルトの平常値で推移している。異常があれば直ちに連絡していただく。

問 太陽光発電導入について。全国各地でエコエネルギーの開発が叫ばれている太陽光発電は風車発電と共に公共施設から一般家庭にまで設置が広まっている。市では数校の学校に設置されたが、今後昼間電力の必要な公共施設への設置の考えは。

答 大城市長 八幡浜市は平成22年度松蔭・千丈・江戸岡・神山・川之石・宮内の6小学校、保内中学校に設置した。今後再生エネルギーの促進補助制度の創設があれば対応する。



問 学童保育、開設以降の運営状況と課題は。

答 2001年開設以降、16校区中8ヶ所の運営を行っている。各クラブの定員はいずれも19名程度としている。

問 承諾人数の少ないところは利用者が実態に合わないのか、制約が厳しいのか、定員超過のところはどのように調整をしているのか。

答 平成24年度の申し込み数は144名で、7名は近くに祖父母が住んでいる事などで不承諾としている。

問 学校の余裕教室は利用できないのか、定員いっぱい施設は狭過ぎないのか。

答 8ヶ所のうち6ヶ所は余裕教室等がないため学校敷地内に設置している。児童1人当たり1・65㎡以上の基準を満たしている。

問 ミカンを中心とした農業政策の基本方針は。共選統合の指導の考えは。

答 質・量ともに日本一であると自負しており、今後も販売量を確保する必要がある。ソフト、ハード面で支援していく。共選統合の要請があれば支援をしていきたい。

問 後継者の育成は。畜産、林業の支援策は。

答 青年就農給付金事業の周知と対象となり得る方の把握に努めている。畜産農家、飼育数とも年々減少しているが、国、県の



二宮雅男議員

質問事項

- 1 学童保育の運営と課題について
- 2 一次産業の支援策について
- 3 市長の政治姿勢について

補助メニューを適切に紹介している。森林組合と連携を密にして支援をしていく。

問 交流拠点施設アゴラによる活性化策は。

答 個人やグループのレベルで物を販売できる場所、受け皿が重要であり、そのルールづくりを検討されている。

問 去る5月に行われたポンプ工事になぜ市外業者を指名したのか。

答 営業所の実態を調査し、営業所として機能し得るものであると確認した上で入札資格の格付上、市内業者として取り扱ったものであり、試みに指名をした。

問 人件費3億円削減については、何度も質問されているが、其の後はどのようになっているか。人事院勧告分の削減は期待していないが、どうか。

答 3年間で職員数49名の削減、平均給与で計算して、人事院勧告分も含む3億1700万円の削減になっている。給与の引き下げについては担当課に職員組合と事務レベルで交渉は続けさせているが、理解は得ることができていないが、引き続き十分説明し、理解が得られるよう努力していく。

問 商店街の活性化はどのように取り組んでいくのか。

答 新町角駐車場、矢野組代官屋敷跡案内所を新設した。今後も商店街と連携し、必要な支援策で活性化に努める。



岩田功次議員

質問事項

5 4 3 2 1

1 社会保障問題をどう考えるか市長に伺う
2 地域の統治機構改革
3 哺乳類調査・生態系調査などから見えてきた問題
4 と柑橋のジューズ工場
5 八幡浜港振興ビジョンの今後の展開について伺う
安全・安心な生活環境保全の状況について伺う

1年生議員・12回目の一般質問

問 市民サービスにおいて、年金、医療保険、生活保護の受給など、社会保障問題をどう考えるか。日本の借金が1000兆円を超えた。自民党、民主党を初めとする過去の政治と官僚社会がつくりあげた借金が1000兆円である。政府が言う埋蔵金が200兆円あったとしても800兆円が足りない計算になる。また社会保障費の国民負担率の予測を見ても余りにも大きく目を奪われる。若い世代の年金をだれが負担するのか。現在野田内閣は社会保障と税の一体改革を行っているが、消費税を少々上げたとしても日本の社会保障はもたない。今のままでは国の年金も同様であり、20年ほどつぶれると予測されている。この制度、仕組みは国策の問題であり、国家と国会議員の課題だが国会議員は市民、国民が選んでいる。市民にとって身近な社会保障の重要な問題について、地域の長である大城一郎八幡浜市長の意見を伺う。

答 年金、医療など社会保障制度は市民生活と密接に結びついている、重大な関心を持って状況を見守っていく。

問 自立する地域を目指すために地域自治組織の制度導入状況を伺う。市民の安全・安心の為に、予算的にも自立する地区の自主防災会にはできないのか伺う。

答 他の自治体においては地域の自治組

織に予算を配分している例もある。今後調査研究し、当市における地域自治のあり方を考えていく。

問 イノシシ調査から見えてきたものえさのない時期・自然淘汰される冬に、ヒノキ山に山盛りのミカン、イヨカンが捨ててある。10年も20年以上前からこのような理由でイノシシを知らぬ間に育ててきた様子がある。捨てるミカンを少なくする方法として、また、農家の収入を上げる為に、ジューズ工場を建設出来ないか。またイノシシの一時保管場所（猪牧場）とイノシシの加工場も必要だ。ただ殺すのではなく命をいただき貴重なタンパク源資源として利用して収入に変える仕組みがある。ミカンと魚のまち八幡浜のミカンについて、厳しい農業経営の中で頑張っている農家のために、お金に化ける可能性があるジューズ工場だけでも八幡浜市役所農林課でリスクを背負っていただきたいのである。前向きな答弁を伺う。

答 ジューズ工場は、数年来の要望であり何とか形にできないものかと検討している。事業主体や規模、用地の問題、採算性の点で前に進んでいないのが現状である。イノシシの一時保管場所（猪牧場）も同様だ。具体的な方策をJAなど関係機関とともに検討する。



大山政司議員

質問事項

3 2 1

1 国内原発稼働ゼロに関して
2 市税等の納付と債権管理について
3 養護老人ホームの現状と改築について

国内原発稼働ゼロに関して

問 政府が今日時点まで、福島第一原発が事故に至った原因究明に伴う基準対策の見直しを明らかにしていない現状で、再稼働を行うことについて伺いたい。

答 伊方発電所再稼働は、専門的・技術的な知見を有する国の最終的な判断を確認した上で県の考え、市民・議会の意見を踏まえ市として総合的に判断したい。

問 福島第一原発の1号機から4号機の廃炉は決まったが、メルトダウンの原子炉と、使用済核燃料棒は撤去されず、今日的悲惨な実態は何も変わっていないが、建設前の平地に戻るまでの期間について。

さらに、原発立地自治体には区別があるが、放射能の分散には自治体の区別は関係がないことについて伺いたい。

答 原発事故の検証に入ってから後始末をして廃炉にするには、30年以上の年月がかかると言われている。

放射性物質の拡散には、自治体の垣根を越えるのは当然のことであり、大変厳しい現状を認識して原子力政策に臨んでいく。

市税等の納付と債権管理について

問 市税を滞納した時、市役所から督促状・延滞金による加算・強制処分などの通告後に銀行の預金から滞納金額が差し押さえられた。市役所からは郵送による通知・通告のみで、一度の電話等による直接の催告は

ないとの不満と怒りであったが、強制処分の実態をお尋ねする。

答 法的には、差し押さえは督促状を送った日から起算して、十日を経過した日までに完納しない時に実施できる。

電話による催告については、費用対効果から有効な手段ではなく、特別な事情がない限り行っていない。

悪質な案件について預貯金や生命保険・給料など、財産の差し押さえを実施している。

養護老人ホームの現状と改築について

問 今後、南海地震等が予測されているが、二施設の耐震診断は実施されたのか？スロープは設置されているか？

さらに、入居者は2人1部屋となっており、気兼ね・制約等の相談の実態について伺いたい。

答 新耐震基準に準じた建物のため耐震診断は、実施していない。湯島の里のスロープは、室内に設置されていない。

プライバシーの確保や利用に関して不自由をかけているが、要望等には可能な範囲で対応している。

老人ホームが生活の尊厳をおかされかねない状態ではないとは思わない。

財源と用地確保等があるが、可能であれば一刻も早く改築したい。



井上和浩議員

質問事項

- 1 行政改革に関連して
- 2 河川の工事工法と田園風景の保存に関連して
- 3 国際友好都市の提携について

改革の取り組みについて

問 定数削減により、多様化する市民ニーズに支障なく対応出来ているか。

答 国、県からの権限移譲等により仕事量の増加、迅速な事務処理も求められる中、時間外勤務も増加の傾向に有るが、職員健康管理に十分配慮して市民サービスの低下を招かないようにととめている。

問 分庁方式について。

答 当分の間は現在の状態を維持すべきであると考えている。

問 グループ制導入について。

答 当面は現在の組織機構の中で連携強化に努めることによって、迅速な意思決定と柔軟な組織づくりに繋げたい。

問 経年劣化の心配される八幡浜市の市民会館のあり方と、その利用について。

答 築後41年が経過し、建築基準法改正施行前の建物であり、老朽化も著しくここ数年の内には何らかの方針を決定すべきと考えている。

問 自治基本条例制定の計画。

答 地域主権改革による条例制定権の拡大や権限移譲など、地方行政を取り巻く環境が急激に変化していることから、状況を十分見極めてから対応すべきであると考えている。

高齢化著しい稲作農家の支援について

問 稲作農家、田園風景の維持管理に河川

からの水利の確保・鳥獣被害対策等、支援助成制度の導入。

答 河川工事は、全国的に統一された工法で行われてきた。今後は水利組合等地元の方の立会をいただき、適切な対応をする。平成25年からの計画にはイノシシ被害の費目に水稲を追加して、水田の被害防止に取り組みたい。

支援については、農家の声を聞きながら、適否について検討する。

将来への展望を見失わないために

問 国際友好都市提携を活用した経済交流について。

答 農林水産物の消費及び価格の低迷が進む中、地域活性化の観点からも有益と考える。

市独自の海外への販路開拓につぎまして、も県の指導を仰ぎながら研究をしていく。



釜倉コスモス祭り

総務委員会報告

上田 浩志 委員長

当委員会に付託された案件、報告3件、予算案1件、継続審査としていた請願について審査した。

報告第5号 八幡浜市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について

問 合併して7年が経過し、都市計画税の廃止という考えはないのか、それとも将来的に保内の方も都市計画税を課税していくという考えがあるのか。

答 市税の減収や地方交付税に頼らざるを得ない財政体質の問題も含めた全体的な財源確保策のあり方、さらには国土調査地籍の固定資産税課税の問題等もあり、現時点で方向性についてはまだ出ていない。

議案第54号 平成24年度八幡浜市一般会計補正予算（第1号）について

問 過年度払戻金の1353万5千円については、平成19年度から平成22年度までの市内医療法人への固定資産税過誤納に伴う償還金であるとの説明があったが、何故、過誤納がおきたのか。

答 過誤納が起きた原因は、平成18年の9月30日に税制改正があり、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律が廃止されたことにより、ある1つの精神関係施設が課税対象となったという判断ミスが1つにあった。

問 避難路整備工事に關し、津波の想定の見直しに伴い、既定の避難道の変更も考えられるが、津波の高さが2倍程度になると、現在の計画と新しい想定に基づく計画にか

い離はないか。

答 基本的に一時避難場所は、津波の高さが4・7メートルから7・9メートルと言われているが、7月中には、はっきりしたものが出され、さらに変更されても、なお上の所に逃げられる場所を設定していることから、大きな変更はないであろうと考えている。

継続審査としていた請願第15号『伊方原発の再稼働を認めないよう求める請願書について』は、採決の結果、賛成少数となり、不採択となった。

総務委員会では、地震と津波による激甚災害を受けた宮城県山元町を視察研修した。役場の建物は残っているが、ひびなどが入って危険だということで仮設の役場がすぐ横に建っていて、職員がみんな作業服で仕事をされ、その必死さが伝わってきた。

山元町役場仮庁舎前
(平成23年10月6日)

民生文教委員会報告

新宮 康史 委員長

当委員会に付託された議案7件、請願1件について、請願は不採択、その他の案件については全会一致で原案可決となった。

民生費のシニアによる子育て環境づくり事業について

問 シニアによる子育て環境づくり事業とは、具体的にどのようなことをするのか。

答 児童センターでは、遠足やバザーなど様々な行事を行っているが、そこにシニアの方を招いて交流を深め、育児に関する指導を頂く、また、公民館で行っている創作活動や体験活動にも加わって頂き、行事の拡充をしようと考えている、具体的な事業内容については、これから詰めていくことにしている。

保健衛生総務費の糖尿病性疾患予防対策事業について

この事業は、糖尿病患者や特定健診等のデータを集積することで病気等の緊急度・重症度を判定し、治療等の優先順位を決めるトリアージを地域で行い、専門医の支援が必要であるかを判断し、的確な医療につなげていくものである。との説明を受け、**問** 健診受診者のトリアージを行うようだが、健診項目はこれまでの健診と変わるのか、トリアージを行うのは予算不足の問題か。

答 特定健診の検査結果を、より糖尿病の状況判断をしやすいうように検査項目を追加している。血液検査のクレアチニン（腎機能検査）や、血糖状況については、グリコヘモグロビン（過去1〜2ヶ月の血糖がう

まくコントロールされているかを判定）のみから、更に空腹時血糖検査も加えており、眼底検査においては全員実施することにした。トリアージをすることは、予算面の問題ではなく、市全体で糖尿病の適切な治療に結びつけることを目的としている。

問 これからの病院経営というのは、弱みもあるが、これだけは強いといったある面では特化したことも必要だと考える。ぜひ市立病院の一つの目玉として、強力に推進してもらいたい。

答 この事業を通して、八幡浜市が糖尿病対策について先進的に取り組んでいる実績を示し、全国の医療関係者から注目され、医師確保にもつなげていけるきっかけにしたいと考えている。

その他、温浴施設立地可能性調査事業に対し市民の為に最優先に各課縦割りではなく様々な可能性追求して、人がまとまって集まれる施設を考えて欲しいとの委員からの意見があった。

産業建設委員会報告

樋田 都 委員長

八幡浜港港灣施設の管理及び利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 大島行の待合所の今後は、2ヶ所利用と理解してよい。

答 当面、旅客に関する会社が、新設した沖新田旅客待合所を使用し、荷物を運搬する会社が、現在使用している旅客待合所を使用する。

八幡浜市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

問 今回の水道料金の見直しにより一般的な家庭で1ヶ月どの程度の値上げになるか。

答 一般的な家庭は、大体20mが基本であり、現行の2700円が、2970円となり1ヶ月2700円の値上げとなる。

平成24年度八幡浜市一般会計補正予算（第一号）について

問 水産業振興費、受託研究委託料、八幡浜市水産振興基本計画支援事業について

答 離島である大島の高齢漁業者がアワビ、ナマコを飼育し、儲かる水産業を検討するため等の委員会を立ち上げ研究を委託するために計上している。またこの委員会は、大学や研究機関として5つの関係機関を予定しており1機関50万円を予定している。



大 島

商工費、「八幡浜&えひめ南予いやし博」観光バスツアー委託料について

問 観光バスツアーは、いつ頃の実施か。

答 2回の実施を予定しておりできれば夏休み中と海鮮活しやぶがおいしくなる11

月頃を予定している。この委託料は、「えひめ南予いやし博2012」に来ていただくお客様に八幡浜市まで足を延ばしていただくきっかけを作る事業として1泊2日のバスツアーを実施するため旅行業者に委託する経費である。

要望 以前、海鮮朝市を実施した時、みんな狩りを行い、大変喜んでいただいた内容を提案したい。

水道料金滞納5000件の督促状発送について

問 今定例会の質疑において、水道料金滞納に対し詳しい内容の説明を求めたい。

答 5000件は、1年間すなわち12ヶ月の数字であり1ヶ月にすると400件から420件程度の督促状を出している。そのうち半分の200件程度はすぐ納付されるが、その以外には、催告、給水停止予告通知を行い、それでも納付されない場合には水道法及び八幡浜市水道事業給水条例の規定により本人立ち会いのもと給水停止を行い私債権である水道料金の徴収に努めている。

議会改革特別委員会報告

清水 正 治 委員長

八幡浜市議会は、平成23年9月22日本会議最終日、宇都宮議長のもと議会改革特別委員会を設置。平成24年6月までの間、9回に渡って委員会を開催。議会改革とはどういうことか、そこから発信し、すでに議会基本条例を制定されている先進地の視察等を実施して、八幡浜市議会としての議会のあり方、議員のあり方等を明らかにする

ことを目的に八幡浜市議会基本条例の制定を目指して特別委員会を設置致しました。以下、これまでに審議された内容等について報告いたします。

委員定数は各常任委員会から3名ずつ、議長をアドバイザーに合計10名で発足、市議会協議会から9項目の検討課題の御提案を頂きました。①議員定数②市長選挙との同日選挙③議会基本条例④会派制の導入⑤政務調査費⑥予算委員会の設置⑦議会だより⑧質問方式「対面・一問一答」⑨日曜議会・夜間議会について審議する事を提案されました。改革委員会設置に対して議長より、議会のあり方、議員のあり方、という議会を指すか、という議員活動をすべきか、基本的認識に立つて個別の課題の議論を深めていただきたい。とのコメントを頂きました。当委員会としては、平成24年6月頃に中間報告ができる位に審議をして、平成24年12月に委員会の最終目的である議会基本条例の制定を目標に毎月1回の委員会を開催しています。第1段階として合併以来7年間事務局に一任していた議会だよりから一つずつ始めることとして、多くの議員からも提案された⑦の議会だよりについて集中的に審議できる議会だより編集委員会を設置して、議会だよりの内容については全て委員会にまかせる。その結果は、平成24年3月議会の議会だよりのとおりであります。一般質問者の氏名と写真を載せ、答弁者の方も載せると致しました。特に注目すべきは、一般質問の原稿については、質問した本人が原稿を書いて提出。これを委員会のメンバーで議事録と照らし合わせてチェックをして議会だよりに載せることで

結着。これは議員一人一人が自分の発言に責任を持つ事と市民に対する自身の情報公開にもつながるものと思います。

原子力発電安全防災 対策特別委員会報告

上田 竹則 委員長

平成24年5月31日伊方原子力発電所へ行き安全対策の取り組み状況を視察しました。3号機建屋内の非常用ディーゼル発電機、水密扉、充電器盤室。屋外では、標高32m地点の電源車、高圧受電盤、消防自動車、海水取水用水中ポンプ他亀浦発電所からの給電ルート。総合事務所の免震ビット、緊急時対策所を視察説明受けた後、資料説明と質疑応答の時間を設け、活発な質問、意見、要望をして会を閉じました。



伊方原子力発電所視察の様子

6月定例会 審 議 結 果

番 号	件 名	審議結果
請願第15号	伊方原発の再稼働を認めないよう求める請願書	不採択
報告第3号	専決処分の報告について(八幡浜市市税条例の一部を改正する条例の制定について)	原案承認
報告第4号	専決処分の報告について(八幡浜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	原案承認
報告第5号	専決処分の報告について(八幡浜市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)	原案承認
報告第6号	平成23年度八幡浜市一般会計繰越明許費繰越計算書	報 告
報告第7号	平成23年度八幡浜市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	報 告
報告第8号	平成23年度八幡浜市港湾整備事業特別会計繰越明許費繰越計算書	報 告
同意案第1号	教育委員会委員の任命について 候補者 小野巖氏 (井上守氏 後任)	原案同意
議案第47号	愛媛県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決
議案第48号	八幡浜市寝たきり老人等介護慰労金支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第49号	八幡浜市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第50号	八幡浜市火葬場条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第51号	八幡浜市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第52号	八幡浜市港湾施設の管理及び利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第53号	八幡浜市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第54号	平成24年度八幡浜市一般会計補正予算(第1号)	予算額 57,442万円 原案可決
議案第55号	平成24年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	予算額 187万8千円 原案可決
議案第56号	平成24年度八幡浜市介護保険特別会計補正予算(第1号)	予算額 395万円 原案可決
議案第57号	平成24年度八幡浜市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	予算額 130万6千円 原案可決
議案第58号	平成24年度八幡浜市港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)	歳出組替 原案可決
報告第9号	専決処分の報告について(市道警女が峠線において発生した接触事故に係る相手方との和解及び損害賠償の額の決定について)	報 告
請願第18号	「子ども・子育て新システム」の法制化に反対の意思を表明し、法案撤回を政府に求める意見書提出についての請願書	不採択
議員提出議案第1号	北朝鮮による拉致問題の早期解決に向けた積極的で強力な行動を求める意見書の提出について	原案可決
議員提出議案第2号	八幡浜市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決

各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。
そのほかについては全員賛成で可決されました。

議席	氏名	議案の可否	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
議案番号	氏名	議案の可否	岩田功次	石崎久次	樋田都	新宮康史	上田浩志	井上和浩	魚崎清則	二宮雅男	遠藤素子	清水正治	宇都宮富夫	兵頭孝健	上田竹則	松本昭子	住和信	中岡庸治	宮本明裕	大山政司	萩森良房
報告第5号	可	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	可	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	×	○
議案第54号	可	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○	○
請願第15号	否	否	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×		×	×	×	×	×	×	○	×
請願第18号	否	否	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×		×	×	×	×	×	×	×	×

[○：賛成 ×：反対 宇都宮富夫議長は採決に入っていません]

議会日誌(H24.3.23～H24.6.4)

◆委員会活動状況

- 3月26日 議会改革特別委員会開催
- 28日 産業建設委員会開催
- 4月16日 議会改革特別委員会開催
- 26日 市議会協議会開催
- 5月16日 議会改革特別委員会開催
- 29日 議会運営委員会開催
- 31日 原子力発電安全防災対策特別委員会開催

◆庶務関係

- 3月27日 議長及び産業建設委員長が八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会定例会に出席
- 28日 正副議長及び各常任委員会正副委員長、議会運営委員会正副委員長が市制施行記念日市政功労者表彰式に出席
- 4月13日 正副議長が愛媛県市議会議長会春季定期総会に出席(四国中央市)
- 24日 正副議長が四国市議会議長会定期総会に出席(徳島市)(～25日)
- 5月9日 議長が全国自治体病院経営都市議会協議会第40回定期総会に出席(東京都)(～10日)
- 11日 議長が国道197号地域高規格道路建設促進期成同盟会定期総会及び国道378号整備促進期成同盟会定期総会に出席
- 20日 議長が「天神丸」出航100周年記念式典に出席
- 21日 議長が第23回四国西南サミットに出席
- 23日 議長が第88回全国市議会議長会定期総会及び天皇陛下下拝謁式に出席(東京都)(～25日)
- 6月2日 議長が生誕175年「西山禾山顕彰会」40周年記念展に出席
- 3日 議長が第25回福祉のつどいに出席

議員表彰

4月24日に開催された四国市議会議長会定期総会並びに5月23日に開催された全国市議会議長会定期総会において市制の発展、振興に対し、次の方々が表彰を受けられました。

〔四国市議会議長会表彰〕

議員在職 12年以上
住 和 信
兵 頭 孝 健
遠 藤 素 子

〔全国市議会議長会表彰〕

議員在職 25年以上
宮 本 明 裕
議員在職 10年以上
清 水 正 治
二 宮 雅 男
魚 崎 清 則

編集後記

3月議会(広報5月号)から始まった議員の手による「議会だより」は、いかがでしょうか。以前より議会の様子が『見えるようになった』との評価をいただいているようですが、もっと分かりやすくなるように、試行錯誤の段階です。1議員のスペースが、1000文字以内ということで、質問のポイントのみしか載せることができません。詳しくは、『会議録』をごらんください。

《議会だより編集委員》

委員長 石崎久次
副委員長 遠藤素子
委員 岩田功次
委員 樋田都
委員 井上和浩
委員 上田浩志
委員 新宮康史
委員 清宮正治
八幡浜市議会事務局
(代)22・3111

